

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Multiple horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとさせていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large empty box for drawing illustrations.

あなたの声を聞かせてね！  
お便り待ってます！



●高齢者が生きがいを持てるように

高齢者介護の問題が深刻度を増してきているように思われます。

高齢者と幼児が共に遊び、学びあう場をつくり、高齢者が生きがいを持てる社会を作ってください。

健康福祉課より

町の地域包括支援センターが、介護など高齢者の総合相談窓口として対応しています。また、高齢者の認知症予防や健康づくり・生きがいづくりのため、16カ所の地域公民館で生きがいサロン事業を開催しています。

他にも、生涯学習センターが行う世代間交流事業や保育園でのお楽しみ会などで、高齢者と子どもたちとの交流の場を設けています。

今年度は、中学生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について理解を深めて地域での見守りや身近な課題としての啓発を行っています。

●介護予防講座を受けて

駿河富夫さん

健康福祉課主催の介護予防講座（H20・10～H21・2の全12回）を受講しました。その中の「生きがいづくり」の講座内容から一部を皆さんに紹介します。

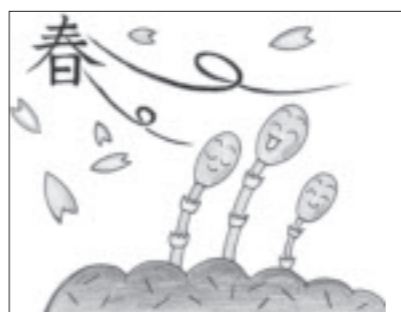
先生から「生きがいとはなんでしょう」との質問。受講者は「元気なこと」「仕事ができること」「趣味をやること」「などたくさん」の答え。先生は「皆さんが出されたことは全部大切なことです。それに加え、生きがいとは自分が必要とされる人間だと感じることです」と言われ、受講者全員が納得しました。

「健康な高齢者の共通の特徴」についての話もありました。その特徴とは、三世帯同居が多い。規則正しく1日3食で、野菜や果物・水分を多く採っている。かかりつけ医を持っている。なんらかの仕

事をしている。好きなことをやっている。自立心が強く柔軟性がある。短気をおこさない。嫌なことはすぐ忘れる。ボランティア活動などに参加することが多い。近所づきあいが良い。など。

また、高齢者の元気づくりには、おしゃべりするなど「遊び」が重要だそうです。家にもりがちな人がいたら何回も誘って一緒に楽しむようにするといふようです。

皆さんが健康で暮らすための参考になれば幸いです。



▲高松イクさん（下高根沢）

町長室からー豊田征夫



町長に就任し、早くも3年目を迎えるようとしています。この間「町長と対話の日」、地区座談会、広報「あなたの声を聞かせてね」やメールなどで職員の窓口対応や仕事ぶりに関して、さまざまなご意見をいただきました。

「あいつ、返事がない」「緊張を欠き、あくびをしている」「言葉遣いがなっていない」「パソコンに向かって、気がつかない振りをしている」など。私も職員として42年間現場に勤めましたが、その頃受けたご意見と変わっていないのはなぜか…自問自答するところでした。

反対に、誉めていただいたこともありました。例えば、「苦情に対してすぐ対応し、解決してくれた」「窓口の対応が親切で気持ちいい」などです。誉めていただく、私もほっとしますが、まだまだだと思っています。

役場の組織も急激な社会変化に対応できず、目先の業務を優先してしまいがちです。

「何のために、誰のために」といった原点を忘れ、不快な態度をとったり、相手を思いやることが欠けてしまうことが見受けられます。

私は、職員の資質の向上のため、今年の重点施策に「人材の育成」を掲げ、徹底した意識改革とそための研修を実施することにしました。窓口や電話での言葉遣いを学ぶ接遇研修をはじめ、各種事業の内容を住民に分かりやすく説明するプレゼンテーション研修、知識や技術を部下に伝えるコーチング研修などを実施します。

皆さんには、職員の対応や仕事ぶりをよく見ていただき、さらに感想やご意見をお寄せください。そして、それらを基に改善を図っていきます。

継続して研修や改善策を積み重ね「最近役場の職員は変わったな」と思っていたらけるよう努力します。

※3月号の健康ライフで記載したアレルギー対策は、花粉症に限定した一例です。一般のアレルギー疾患については、医療機関などの指示に従ってください。